

第14回 都市景観ウォッチング 令和6年3月23日(土) 午前9時20分集合

早春の笠間を歩いてみよう ～その魅力にふれてみよう

茨城県建築士会県央支部企画委員会では、これまでも地域の皆様と共に「まち歩き」をしながら、何かを体感し、建築を通して「まちを再発見する」活動を行っています。今回散策する場所は、笠間です。

JR笠間駅に集合し、笠間のまちを歩きます。何となく知っている町も歩いてみると新しい発見があります。その魅力に少し触れてみませんか。どうぞお気軽にご参加ください(^^) / 担当：県央支部-企画委員会 小林



改修前の井筒屋
曳家(ひきや)をして建物の
位置を奥にして、改修を行いました。



笠間稲荷神社
出世稲荷と呼ばれているとのこと。
今回、出会えるかな。。。
探してみましょう。

日 時 **令和6年3月23日(土)**

午前9時20分集合(午前9時30分 出発)～午後 小雨決行

集合場所 **【JR笠間駅】** 紺色・オレンジの建築士会のぼりが目印です。車の方は、周辺の駐車場を各自ご利用ください。また(坂・階段など)足元の悪い箇所もあります。履きなれた靴での参加、そして寒いことを考慮した服装でお願いします。※当日の連絡先は、参加者に別途お知らせします。

見学内容 笠間駅～佐白山のとうふ(小休憩) 日動美術館 野外彫刻庭園～白凜居(山下りん記念館)～笹目宗兵衛商店～笠間稲荷神社～城山稲荷神社～井筒屋<解散>
(その他は現在交渉中、一部見学場所が変わる可能性もあります)

※JR水戸線 水戸発小山行き 笠間着 9:09 → 友部行き 笠間着 9:17

その他、常磐線等との連絡は各自ご確認下さい。

参加費 終了予定時間：午後12:30頃 ※見学場所等の都合により、時間は前後するかもしれません。
小学生5年生以上とし、参加費は一律500円とします。(資料代、保険代を含みます。
昼食は、各自でお願いします。)

主 催 **茨城県建築士会県央支部**

申込方法 **このチラシの申し込み欄に必要事項(複数の場合は参加者全員分)を記入し、2月29日(木)まで**
にFAX・メール・郵送でお申込みください。(25名程度募集)

※記入していただいた情報は、今回のウォッチング以外では使用しません。

また、保険に加入するために生年月日、年齢、性別のご記入もお願いします。

【茨城県建築士会 県央支部 事務局】〒310-0805 水戸市中央1-4-1 水戸市役所建築指導課内
TEL: 029-224-1111 (内線412) FAX: 029-228-5674
E-mail: mito-shikai@air.ocn.ne.jp 申込欄

氏 名	住 所	当日連絡先(携帯)	生年月日	年齢	性別	備考



タイムスケジュール・シュミレーション

集合(到着)	出発		歩く距離(km)	備考
9時20分	9時30分	① JR 笠間駅		トイレ有
		↓	2.20	
10時10分	10時25分	② 佐白山のとうふ屋	2.20	トイレ有
		↓	0.55	
10時35分	11時00分	③ 笠間日動美術館	2.75	トイレ有
		↓	1.00	
11時20分	11時30分	④ 白凜居	3.75	
		↓	0.30	
11時35分	11時50分	⑤ 笹目宗兵衛商店	4.05	トイレ有
		↓	0.10	
11時52分	12時15分	⑥ 笠間稲荷神社	4.15	トイレ有
		↓	0.15	
12時18分	12時28分	⑦ 城山稲荷神社	4.30	
		↓	0.34	
12時35分		⑧ 井筒屋		トイレ有

※上記は歩く距離、時間とも目安とお考えください。

4.64 累計

~~※井筒屋の見学をした後に、昼食（お弁当）を頂きます。~~

※帰りの井筒屋から「笠間駅」までは、約1.7km（徒歩30分）程度です。

赤バス運行情報必要か？

水戸のまちを歩いてみよう ～ その魅力にふれてみよう

茨城県建築士会県央支部企画委員会では、これまでも地域の皆様と共に「まち歩き」をしながら、何かを体感し、建築を通して「まちを再発見する」活動を行っています。今回散策する場所は、水戸です。

JR水戸駅北口に集合し、水戸城大手門→旧県庁舎→水戸芸術館そして新しくできた水戸市民会館まで歩きます。何となく知っている町も歩いてみると何か新しい発見があるかもしれません。

各訪問場所で簡単な「講和(説明)」を行う予定です。

どうぞお気軽にご参加ください(^)/ 担当：県央支部-企画委員会 小林



水戸城大手門

一枚瓦城主による寄付金が充てられ
令和2年2月に復元されました。



水戸芸術館

1990年に開館。市制100周年記念
施設として建設。磯崎新氏設計。



水戸市民会館

市民の芸術活動やにぎわい
や交流の創出拠点として整備
されました。

日 時 **令和7年3月1日(土)**

午前8時30分集合(午前8時45分 出発)～午後 小雨決行

集合場所 **【JR水戸駅北口】**紺色・オレンジの建築士会のぼり旗が目印です。車の方は、周辺の駐車場を各自ご利用ください。また(坂・階段など)足元の悪い箇所もあります。履きなれた靴での参加、そして寒いことを考慮した服装でお願いします。

見学内容 水戸城大手門～旧茨城県庁舎～水戸芸術館～水戸市民会館〈昼食会場〉その後、解散
常磐線等との連絡は各自ご確認下さい。

終了予定時間：午後14:00頃 ※見学場所等の都合により、時間は前後するかもしれません。

参加費 大人：1,000円 学生以下 500円 (昼食代、資料代、保険代を含みます。)

主 催 **茨城県建築士会 県央支部 企画委員会**

申込方法 **このチラシの申し込み欄に必要事項(複数の場合は参加者全員分)を記入し、2月21日(金)までにFAX・メール・郵送・WEBにてお申込みください。(25名程度募集)**

電話での申込みはご遠慮下さい。

※記入していただいた情報は、今回のウォッチング以外では使用しません。

また、保険に加入するために生年月日、年齢、性別のご記入もお願いします。

【茨城県建築士会 県央支部 事務局】〒310-0805 水戸市中央1-4-1 水戸市役所建築指導課内

TEL: 090-3333-3625 (担当 小林) **当日までに欠出確認等の連絡をすることもありますので、電話がつながるようお願いします。**

FAX: 029-228-5674

E-mail: mito-shikai@air.ocn.ne.jp



申込欄

氏 名	住 所	当日連絡先(携帯)	生年月日	年齢	性別

コース見直修正



タイムスケジュール・シュミレーション

集合(到着)	出発		滞在目安	歩く距離	備考
8時30分	8時45分	① J R 水戸駅北口	↓	(km)	外部トイレ有
		↓ (徒歩15分)		0.62	
9時00分	9時20分	② 水戸城大手門	(20分)		0.62
		↓ (徒歩10分)		0.46	
9時30分	9時50分	③ 三の丸旧県庁舎	(20分)		1.08 トイレ有
		↓ (徒歩20分)		1.20	
10時10分	10時50分	④ 水戸芸術館	(40分)		2.28 トイレ有
		↓ (徒歩5分)		0.92	
10時55分	11時55分	⑤ 水戸市民会館	(60分)		3.20 トイレ有
12時00分	13時00分	⑥ // 会議室 (ディスカッション)	(45分)	合計	3.20

※車の場合は、JR水戸駅周辺駐車場 or 三の丸旧県庁舎等の駐車場があります。
※上記は歩く距離、時間とも目安とお考えください。
※帰りの水戸市民会館からJR水戸駅までは、約1.5km(徒歩25分)程度です。
※水戸市民会館前バス停(泉町一丁目)から水戸駅までは片道190円(大人)です。



■水戸市役所本庁舎
設計：久米・柴建築設計
共同企業体



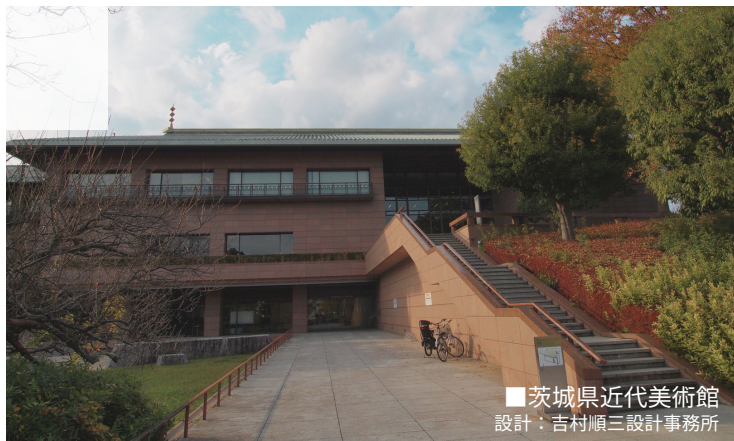
■ザ・ヒロサワ・シティ会館
(茨城県立県民文化センター)
設計：芦原義信建築設計研究所

茨城県建築士会
県央支部
主催

第16回 都市景観 ウォッチング



■好文cafe
設計：匠建築研究室



■茨城県近代美術館
設計：吉村順三設計事務所

千波湖畔の建築たち

2026 2/28 (土)

8:45 水戸市役所 集合
(水戸市中央1-4-1)

■茨城県建築士会県央支部企画委員会では、**を見て回ろう**

地域の皆様と共に「まち歩き」をしながら、
建築を通して「まちを再発見する」活動を行っています。

今回は水戸市の千波湖を、建築解説をしながら散策します。

■何となく知っている町も歩いてみると何か新しい発見がある
かもしれません。どうぞお気軽にご参加ください。(要予約)

■見学内容（散策時間 9:00～12:00頃）

①水戸市役所本庁舎 ②ザ・ヒロサワ・シティ会館
③茨城県近代美術館 ④好文cafe ⑤千波公園新施設

※現地解散（水戸市役所までの戻り時間：徒歩約25分）

※全て徒歩移動のため履きなれた靴・服装で

※見学先では、許可されたエリア以外には立ち入らないで下さい

★参加申込方法★ 参加申込は
QRコード・メール・FAX・郵送で

★参加希望の方の①お名前②住所③連絡先（携帯）④生年月日
⑤性別を、QRコード・メール・FAX・郵送のいずれかの方法
で、茨城県建築士会県央支部事務局までお送り下さい（複数
人希望の場合は、全員分の情報が必要）。

★締切：2026年2月20日(金)まで

★定員：25名まで（定員になり次第締切）

★参加費：300円（資料代・保険代）

※①から⑤の申込者情報は、当日の保険加入のために使用いたします。



▲参加申込QRコード



■千波公園（黄門像広場周辺地区）拠点整備事業
設計：横須賀満夫建築設計事務所

予約制
参加費
300円

申込フォーム → FAX029-228-5674 mito-shikai@air.ocn.ne.jp

①お名前	②住 所	③連絡先（携帯）	④生年月日	⑤性別
	〒	☎	昭和・平成・令和 年 月 日	男・女
	〒	☎	昭和・平成・令和 年 月 日	男・女

茨城県建築士会 県央支部 事務局

〒310-0805 水戸市中央1-4-1 水戸市役所建築指導課内
E-mail: mito-shikai@air.ocn.ne.jp FAX.029-228-5674



Mapion地図をもとに作成



都市景観ウォッチング・ルート地図

まちづくり委員会委員の齋藤重雄(日立支部)です。

”常陸国むかしの家”に掲載されていない建物をネット上で検索、羅列してみました。

家というよりは神社仏閣・公共建築物が多くなってしまいましたが・・・

【澳津説(おきつせ)神社】

日立市日高町 2-3-1

1544 年に京都・伏見稲荷神社を勧請して創建。1658 年に現在地に遷座。1883 年に現社号に改称。

祭神は事代主命、宇賀御魂命。

一の鳥居(建立年不明)と三の鳥居(建立年不明)は朱塗りだが、二の鳥居(1991 年建立)には色が塗られていない。

拝殿は木造銅葺き。本殿は元禄年間(1688～1704 年)の築で木造銅板葺き。朱をベースとして、胴羽目や脇障子などの彫刻が鮮やかに塗られている。

【大甕神社】

日立市大みか町 6-16-1

紀元前 660 年の創建。1695 年、藩主・徳川光圀の命により大甕山(当社の北西にある風神山付近)から現在地に遷座。

祭神は武葉槌命、甕星香々背男(地主神)。

拝殿前の鳥居は 1916 年建立。国道 6 号側には大鳥居(建立年不明)、神門(2023 年建立)がある。

拝殿・本殿は 1933 年築で木造銅板葺き。

本殿は拝殿裏の岩山(宿魂 石)上にあり、参道途中には鎖場がある。

【泉神社】

日立市水木町 2-22-1

奈良時代初期に書かれた「常陸風土記」にでてくる「密筑の大井」が、泉神社の横のにある泉だとされているとのこと。

「密筑の大井」は古くから多くの男女が集まり遊ぶ場所だったという。

鎮祀が紀元前 42 年と伝えられ、延喜式にも載っているとのこと。

また「東夷の荒賊を平討する」最前線基地として、古から多くの武将が訪れたとか。

趣深い神社。

大甕神社の近くに泉川道標(市指定建造物)が立っていて、昔の人は、その道標をたよりに泉神社を訪れたという。

【浄蓮寺本堂】

北茨城市華川町小豆畑 2733

竣工／安政 4 年（1857／江戸末期）

浄蓮寺は、天安 2 年に天台宗三代目の座主である慈覚大師が、奥州山寺創立の帰途、この地に道場を開いたと伝える。天正 2 年兵火に遭い、大半の古文書を焼失したほか、嘉永元年にも火災に遭って宝物類なども全焼した為、記録が少ない。

1857 年(安政 4 年)に現在の本堂が再建された。

[県指定文化財]

【浄蓮寺愛染堂】

北茨城市華川町小豆畑 2733

境内の愛染堂には、愛染明王が安置されてる。

三十三観音巡りが、浄蓮寺の敷地内にある浄蓮寺溪谷の、苔むす岩に彫られた三十三体の観音像があり、巡ることが出来る。

天正 2 年兵火に遭い、大半の古文書を焼失したほか、嘉永元年にも火災に遭って宝物類なども全焼した為、記録が少ない。

【佐竹寺本堂】

常陸太田市天神林 2404

竣工／天文 12 年（1543／室町後期）

本堂は茅葺き屋根の寄棟造で、桁行 5 間、梁間 5 間の主屋の周囲にこけら葺きの裳階を巡らす。正面中央に唐破風をあげている。

徳川光圀が元禄期に大きな梁を入れて堂内の 6 本の柱を抜き、廻り縁、床を取り去り、格天井を設け、窓や戸口の周囲を改造して裳階を付けるという大改造をした。

同 15 年に現在地に移転し、再建された。

花頭窓や丸窓を採用している。

天文 12 年に兵火にあい、山門は昭和の再建。

[国指定重要文化財]

【来迎院阿弥陀堂】

常陸太田市大里町 3 7 0 8

享保 3 年（1718／江戸中期）

阿弥陀堂は享保 3 年に建てられ、移築再建されたと伝えられる。

桁行 3 間、梁間 3 間、宝形造、茅葺、中備えの蓼股には十二支の彫物がある。

外壁は真壁造り、素木板張、内部は 1 間四方の隅に四天柱を立てた内陣、江戸時代中期に建てられた阿弥陀堂形式の御堂建築として貴重である。

[県指定文化財]

【来迎院山門】

常陸太田市大里町 3 7 0 8

宝暦 10 年（1760）

光明山安養寺来迎院は天台宗の寺院で、創建は不詳。

大洗磯前神社の別当寺で神宮寺と称していた。

天和 3 年に光圀によって現在地に境内を移され、来迎院と寺名を替えた。

山門は宝暦 10 年竣工の八脚楼門、三間一戸、入母屋造、茅葺屋根。上層に高欄が廻る。

両脇に仁王像が祀られている。

[県指定文化財]

【馬場八幡宮本殿】

常陸太田市馬場町 5 7 4

竣工／天正 13 年(1585)

現在の馬場八幡宮本殿は天正 2 年に焼失し、佐竹義重が中坂少将義人に命じて造営した時のもので、三間社入母屋造。

棟梁は石橋右馬之助、吉原修理充など名前が判明している。

佐竹氏は水戸に居城を移し、馬場八幡宮の分霊を勧請して水戸八幡宮を創建し、同じ工匠が造営している。

[市指定文化財]

【西山御殿】

常陸太田市新宿町 590 TEL：0294-72-1538

水戸藩二代目藩主・徳川光圀公が藩主の座を退いた後、元禄 4（1691）年から元禄 13（1700）年に没するまでの晩年を過ごした隠居所。

光圀公はここで『大日本史』の 編さんの監修に当たった。

入口には光圀が紀州から取り寄せ、移植した熊野杉が天を覆っている。

建物は茅葺き平屋建て、内部は粗壁のままで、どの部屋にも装飾はなく、書斎も 丸窓だけの三畳間と質素な佇まいです。

なお、現在の建物は、文政 2（1819）年に再建されたもの。

平成の修復・改修工事時に見学させてもらい、完成後はまだ訪れていません。

【鈴木家住宅】

那珂市額田南郷 464

推定：江戸 元禄年間(1688～1704)

鈴木家は、水戸藩時代庄屋を務め徳川光圀の娘を迎えたほどの旧家であり、光圀が西山荘への往復の途中に立ち寄り宿泊にも用いたとされています。

[県指定文化財]

【曲がり屋】

那珂市菅谷 4520-1 TEL：029-298-1111

文久 2(1862)年

那珂市戸崎に建てられた農家。

那珂市に残された最後の曲がり屋ということで市が保存することとなり、平成 11 年に一
の関ため池親水公園へ移築・復元されました。

土間及び厩が突出し、鉤の手に曲がっている「曲がり屋」は、東北地方と茨城県の一部に
みられ、寒さの厳しい地方の代表的な民家形式。

【日鉦斯道館】

日立市白銀町 2-20-6

1934 年

共楽館(現 日立武道館)と比べても遜色ない位素敵な雰囲気醸し出している建物。どうや
ら剣道場のようです。

【高萩駅】

高萩市高萩 1928

1926 年

【日本通運 倉庫】

大津町北町 2 丁目 1-1

大正期

【大津港駅】

大津町北町 250

1954 年／2015 年改修

【キアラ館】

日立市大みか町 6-11

1974 年 白井晟一研究所

茨城キリスト教大学キャンパス内につくられた礼拝堂。

所々に凸を設けた赤レンガ貼りの外壁が特徴的ですが、低層であることもあってか非常
におとなしめな印象を受ける。

レンガ貼りの曲面による外観は、同時期に竣工した「ノアビル」の低層部のようにもみ
える。

【茨城県天心記念五浦美術館】

北茨城市大津町椿 2 0 8 3

1997 年 内藤廣建築設計事務所

五浦に立ち寄った岡倉天心が一目で気に入って別荘をつくり、日本美術院の一部を移し、横山大観や下村観山らと呼び寄せて創作活動をしたという場所であることから彼らの業績を記念してつくられた。

五浦の美しい風景を配慮して低層の建物としており、珪藻土による外壁や落ち着いた屋根がうまく景色に溶け込んでいて「安曇野ちひろ美術館」を思い出させる。

エントランスからロビーに入ると、24m スパンの大空間となっており、天井を見るとプレキャストコンクリートによるトラスが組まれている。

【茨城県立国民宿舎「鵜の岬」】

日立市十王町伊師 6 4 0

1997 年 内井昭蔵建築設計事務所

伊師浜国民休養地内に建てられた国民宿舎。

国民宿舎利用率が 35 年以上連続 1 位という大人気施設。

8 階建ての本館と円形ドーム形のレストラン棟で構成されている。

本館は全客室が太平洋を望めるオーシャンビューで、最上階には展望風呂があるという人氣が頷ける施設。

正面ファサードは複数のボリュームが角度を変えながら連結したような建物で、クネクネしている感じが面白いです。

低層部の屋根は重なりながら連続する意匠。

【吉田正音楽記念館】

日立市宮田町 5－2－2 5 (かみね公園内)

2004 年 内井昭蔵・内井建築設計事務所(内井昭蔵氏 遺作)

日立市出身の作曲家吉田正氏の偉業を称え建設。

建物は中央にエレベーターを持つタワー型の 5 階建てで、らせん状に連続する展示室を見学していくと吉田さんの年代ごとの歴史が分かるようになっている。吹き抜け部分に展示されていたジャケット写真は圧巻。

最上階の展望カフェはテラスに出られ、海・街・山の連続した日立市を眺望できる。このカフェには内井氏のイメージスケッチが展示されているとのこと。

レコードをモチーフにしたタイルを外壁に使用してある。

【日立駅】

日立市幸町 1 - 1

2011 年 デザイン監修：妹島和世 設計

駅の自由通路の東側先端にある展望イベントホールは太平洋が一望できる、ホール内には妹島氏が代表を務める SANAA がデザインした「フラワーチェア」が設置。

駅に併設されたシーバーズカフェは午前 7 時からオープン、海・空・朝日を見ながらのくつろげるカフェ。

夜には、光り輝くガラスの外観が美しい。

【日立風流物収蔵庫】

日立市本宮町 2 - 9 - 2 1

2026 年 荻建築設計事務所

日立風流物の山車(4 基)を収蔵する施設。

保存会などから求められ、築後 60 年が経過して劣化や狭隘化が進んだ旧収蔵庫(神峰神社敷地内)に代わり整備。

S 造平屋約 283 m²。山車を 1 基ずつ収蔵できるよう 1 棟を 4 室に区画している。

収蔵物保存のための空調、トラックによる収容・搬出を容易にするプラットフォームを備えた高床を採用することで、安全性と利便性を確保。軒の深い切妻屋根の外観は、神聖さ・気高さを感じられました。